

# せせらぎ

No. 393



2022年7月



滋賀県勤労者山岳連盟 湖南岳友会

## 目 次

---

●表紙からのメッセージ.....	P 1
●リレーエッセイ 【私のひとりごと】.....	P 2
●7月例会山行案内 【穂高】 .....	P 3
●5月例会山行報告 【大谷山～近江坂】.....	P 5
●清掃登山報告 【高室山】.....	P 7
●6月例会山行報告 【岩トレーニング】.....	P 9
●会員山行記録(5月) .....	P 11
●運営委員会報告.....	
●お知らせ .....	

## 今月の予定

---

- 7月 3日(日) 例会山行【伊吹山】 案内は6月号に記載 申込締切 6月26日(日)
- 7月 16日(土)～18日(月) 例会山行【穂高】 申込締切 7月9日(土)

## 表紙からのメッセージ

---

2018年7月 槍が岳と天狗池に映った逆さ槍です。

忘れられない大切な思い出の一枚です。

T. K

———— わたしのひとりごと ———

O. T

学生時代に行けなかった百名山のうち、67名山を仕事を終えた2015年の夏から2017年夏までの2年間に登った「思い出深い山の感想」を順不同で記します。

①一番しんどかった山

2015年8月10日 朝1:45から夕方17時まで歩いた「皇海山」(すかいさん)です。長く伸びたクマザサをかき分けながら、足を滑らせあわや谷に転落しそうになり、恐い目に遭いました。私が買った本にはこのコースしか乗っておらず、頂上で会った人から沼田市の林道から入る短いコースがあることを教えてもらいました。

②一番 雄大さを感じた山

2015年8月16日 日本海からそそり立つ「鳥海山」です。信仰の山である登山道は、石畳のように綺麗にびっしりと敷き詰められていました

③一番 悔しい思いをした山

2015年8月6日に越後駒ヶ岳を登った後、下見に行った「平ヶ岳」です。皇太子さん(今の天皇陛下)が登られたコースで知られている直登の最短コースです。銀山平温泉の民宿の車しか入れず、どの民宿も翌日の予約客がなく断念しました。既得権の得ている民宿5, 6軒当たりましたがすべてが「大柄で、つっけんどん」な対応に腹が立ちました。翌年8月11日に鷹ノ巣から入る本来のルートから登り直し、距離は長いですが結果としては良かったです。

④一番 つらい思いをした山

2016年8月4日に登った北海道の「幌尻岳」です。あぶに刺されながら林道を歩いて、下の山荘に泊まり翌日頂上往復し、同じ山荘に泊まる二日がかり登山。この時林道を同行した釧路山岳会の6名中1名(70歳代)が頂上からの下山中に転落死された。

⑤一番 らくした山

2015年の8月13日 8合目までスカイラインで車で登り、9合目までリフトで登った「岩木山」です。この日蔵王に登るつもりでホテルを出ると雨が降っており、朝の天気予報でまだ晴れていそうな青森へ高速道路を350km走ってたどりつきました。

⑥一番 悪ましい事 ······ 帰ってきてからの災害が多発

2016年の北関東の「鬼怒川の氾濫」、2017年は「熊本地震」と「北海道十勝地域の河川の氾濫」など。現地の悲惨さにこころを痛めている自分と個人として早めに行つといで良かったという身勝手さ。

⑦百名山達成の最後に登った「富士山」は 「遠くから眺める」 のが最高ですね !!

## 北アルプス 穂高岳

C L : Y

山岳登山基地の涸沢にベースキャンプを設置して、穂高連峰の稜線を周遊します。

【日程】2022年7月16日（土曜）～18日（月曜・祝）

【集合】4:00から 参加者を順次ピックアップ

【持ち物】テント泊希望者はソロテント泊装備一式、食事は個食とします。  
ヘルメットは任意です。

### 【スケジュール】

7/16 (土) 4:00 大津を出発

9:00 上高地～15:00 涸沢（歩行6時間）

7/17 (日) 6:00 涸沢～北穂高岳～奥穂高岳～涸沢（歩行9時間10分）

7/18 (月) 7:00 涸沢～上高地（歩行5時間）

山のいで湯「ひらゆの森」で入浴して、18時頃帰着

### 【宿泊】

山小屋泊かテント泊を選択してください。

山小屋泊の方へ……1泊2食付 13000円 早めに参加表明の事。

テント泊の方へ……1泊2000円 ボコボコの僻地を覚悟の事。

### 【ルート】

涸沢から北穂南稜経由で北穂、穂高稜線を踏破して奥穂、ザイテン下降の周遊。



- 信州山のグレーディングによると最高難度のルートです。（→部分）
- 念のためにロープと確保器は共同装備として携行します。
- 一般登山道での使用は避けたいとこですが、ビビリは適時申し出てください。



ルート経験者の個人的な見解ですが……、  
一般登山道ですので技術的にはY懸尾根などのバリルートほどではないですし、難所にはクサリやハシゴが備え付けてあり、楽勝です。  
やっかいなのは高度感と体力疲労で、じわりじわりと心が折れていきます。そこは「さあ行くぞっ！」と気合いを入れ直して、素晴らしい穂高の稜線歩きを楽しんでくださいね。

#### ※注意事項

- 極度の高所恐怖症の方、標準コースタイムよりかなり遅い方は無理です。
- 車が確保できない場合は先着順とします。

【参加申込み】 7月9日までに

- ピックアップ地点のリクエスト
- 小屋泊かテント泊か
- 車を出せる方

以上の申告をお願いします。

## 大谷山から近江坂(高島トレイル)



T. K

- ◆ 実施日 2022年5月15日(日)
- ◆ 天候 曇り時々晴れ イワカガミ
- ◆ 参加者 T郷(CL) Y邊(SL・会計) N井(感想文) O本(車) K3(写真・記録) K子(車)  
U屋(感想文) Y芳(車) Y由(ブログ) 9名
- ◆ コースタイム

石庭登山口発 9:00～休憩 (9:45～9:50) ～休憩 (10:45～10:50) ～稜線合流・休憩  
(11:20～11:25) ～大谷山・昼食 (11:40～12:05) ～抜戸・休憩 (13:10～13:15)  
～林道合流・休憩 (14:20～14:25) ～近江坂分岐 14:00～休憩 (15:25～15:30) ～ビ  
ラテスト今津到着 16:15

4月17日(日)に予定されていました大御影山(高島トレイル)例会山行が、残雪の影響で5月8日(日)に変更実施されました。よって今回の大谷山と連続の高島トレイルになりました。

車を出してくださる参加者が少なくて配車に悩みましたが、ご協力のおかげで最終は乗用車2台と軽トラ1台で実施できました。

天候はほとんど曇り空でしたが、芽吹きのパワーを貰い足元の花々に癒されながら楽しい山行になりました。

お目当てのイワカガミの群生は、昨年の同時期と比べると花芽が少なくて残念な年周りでした。しかし、トクワカソウやキランソウなど初めての花に出会うことができました。



ほおのき



ブナ林

薄曇りでしたが登り始めるとちょうど良い気温の中、イワカガミ、トクワカソウ、ミヤマカタバミなどが次々と顔を見せてくれました。登り始めこそイワカガミの葉ばかりで「今年は裏年?」との声が聞こえましたが、山頂付近そして近江坂は見事な花いっぱいの群生で見応えがありました。前日までお天気が悪かったので足元を心配していましたが、最後近江坂の下りのみ、絶対転びたくないドロドロ道...すぐに靴その他、洗わなくちゃ!皆さん、お疲れ様でした。そして長時間の運転ありがとうございました。U.M



大谷山も近江坂も初めてで、長い登りが心配でしたが、イワカガミの花を見つける度に興奮してしまい、いつのまにか山頂でした。  
見晴らしの良い景色に可愛い花。高島トレイル、また来年も訪れたいと思いました。  
皆さん、楽しい山行ありがとうございました。N.R



トクワカソウ



キランソウ

## 第50回清掃登山・報告

### 高室山

報告：M田

実施日：2022年5月29

天気：終日・快晴 微風

参加者：CL:M田 SL:S井 K枝 N井 T内(彷徨) M田 D門 H栄 U屋 N西(一般) K西  
コースタイム

多賀町役場出発 7:50→佐目自然公園駐車場 8:20→P415(原石山展望台)8:47→P543

9:22→林道出会 9:45→高室山 10:16~11:18→林道登山口 11:32→鉄塔下山口

12:18→南後谷 13:02→佐目自然公園駐車場 13:31→多賀町役場 14:22

今年度は5月29日の実施である、「乾燥した晴天に微風」絶好の登山日和に恵まれ心配した山ビルの被害もなく気持ちの良い汗を流しながらの清掃活動で収集した塵は、可燃ゴミ 1.6 kg、カン 0.2 kg、不燃ごみ 0.4 kg、合計 2.2 kgでした。

大勢の方が登っている様子ですが、登山道とその周辺にはほとんど見当たりませんでした



ラジオ体操をして出発



山頂集会・多賀町長メッセージ朗読

#### 一口感想

2回目の清掃登山でしたが相変わらず前のリーダーの背中ばかり見て必死に歩いていたので他の方に比べて拾ったゴミが少なくて反省！念願？のヒルデビューは果たせませんでしたが、鹿や猿を見たりワラビを積んだり…楽しい山行となりました。  
皆さまありがとうございました！ -U. M



清掃登山に初めて参加しました。ゴミは少なかったけれどゼロでは無かったのは少し残念でしたが、これからきっと気になってしまうだろうなと思いました。高室山も初めてで山頂から、鈴鹿の山が目の前に見えて感動しました。芍薬は蕾でしたが次回の楽しみに。思いがけず、わらびのお土産が出来てご機嫌の1日でした。 -N.R

掃登山に参加させて頂いてありがとうございました。

50年の歴史がある清掃登山に参加させて頂いて嬉しいです。

あまりゴミが落ちて無くて少しのゴミしか拾えなかったのですが綺麗な山を持続させるお手伝いができたように思い嬉しいです。頂上の絶景とベニバナヤマシャクヤクも観賞でき最高でした。また参加させて頂きたいです。有難う御座いました。 - T.M



よいお天気で360度の景色と『エビネ』『シャクヤク』に会えてよかったです。ごみはほとんど拾えませんでしたが。 - H.S

第50回清掃登山に参加させて頂きました、ありがとうございます。沢山の方と賑やかにゴミ拾いをするのは 楽しい時間でした。心配なく登山出来るのは 皆さんが山に慣れておられるからです。鈴鹿山脈は本当に面白く 毎年登るのを心待ちしています。来年もお願いします。 - N.R



頂上での集会・多賀町長メッセージ朗読



山頂付近での清掃活動



分 別



計 量 中

# 6月例会山行報告 岩トレーニング 金毘羅山・Y懸尾根

M.T

【実施日】 2022年6月5日 【天候】 晴れのち曇り

【参加者】 CL: Y田 SL: K3 T門 K2 K西 T摩 T郷 H栄 会長 M田  
計10名

穂高岳例会山行を前に、難度の高い山岳路を安全に突破するためのトレーニング。ちょっときつめの岩稜をロープで確保しながら登山靴で歩行練習。トップロープで岩壁登攀、クライムダウン、ロアーダウンも練習しました。

【行程】 集合：野洲駅7:00、米プラザ7:30

8:00 江文神社駐車場着

8:40 登攀開始。三点支持についてレクチャーを受けた後、フィックスロープに、フリクションノットを結わえて歩行。



11:00 昼食

11:45 Y懸ノ頭でトップロープ訓練。クライムダウン・ロアーダウンも練習。





14:30 下山開始

15:00 終了

#### 【一口感想】

Y懸尾根を登り、Y懸の頭でトレーニングをしました。

CLより、登る際の注意点3つ(三点支持・岩から体を離す・脚で登る)の指導を受けました。

Y懸の頭までは3つの注意点に気を付けて、冷静にホールドを見る事ができました。しかし少しずつ疲れてくると視野が狭まり、焦り、腕で強引に登ってはさらに疲れるというサイクルに陥りました。体力が落ちているのにも気づきました。

4名の指導者に恵まれてたいへん有意義な一日でした。これから夏山に向けて士気が上がりいました。(T郷)

一週間前の高室山清掃登山の帰りに会長に誘っていただき初めて岩トレーニングに参加させてもらった。高室山の帰りにさっそくモンベルまで行き、どんな物かもわからないまま店員さんに教えてもらってハーネスとヘルメットを買った。あの道具は会長から借りた。

当日、江文神社の駐車場に車を止めY懸尾根の取り付けまで登った。そこでヘルメットとハーネスを装着し、いよいよ岩トレーニングの始まりである。私はまずクライミング用具の名称と用語がわからない。初めての外国語を聞くような感じだった。とりあえずお借りしたカラビナとスリングを使い、登り方の基本を教えてもらった。先行の人の登り方を見習い、指導者のアドバイスを受けながら登り始めた。

最初の岩場は緩やかで、ロープがなくても登れる所だったが、進むにつれて傾斜が険しくなっていった。ところがこの岩登りがだんだん楽しくなってきた。私は、どんどん先に進んでいった。何力所かの岩場を過ぎると本日のゴール『Y懸ノ頭』に着いた。そこではたくさんの人たちが練習をしていた。

昼食後、Y懸ノ頭で四つのコースを登る練習をした。切り立った岩場もあったが、ロープがあると安心で登るのが面白くなかった。たった1日ですっかり岩登りにはまってしまった。(H栄)

2022年5月山行記録

山行期間	山域・山名	例会等	参加者数		ブログ掲載
			会員	会員外	
4/30 ~ 5/1	常念岳		2	2	
5/3 ~ 5/4	鹿島槍ヶ岳南峰		3	2	○
5/3 ~ 5/4	立山別山		2		○
5/3	金勝アルプス		1	1	
5/8	高島トレイル・大御影山	例会	8		○
5/15	大谷山から近江坂(高島トレイル)	例会	9		○
5/15	入道ヶ岳(イワクラ尾根)・鎌ヶ岳		2		
5/21	御池岳		2	1	
5/22 ~ 5/23	立山連峰		2	1	○
5/22 ~ 5/24	石鎚山系縦走(瓶ヶ森～石鎚山～堂ヶ森)		1		○
5/29	鈴鹿山系／高室山	例会・清掃登山	9	2	○

※ コース、人数等は、事前に提出された計画書に基づいて記載していますので、

実際とは異なる場合もあります。

近郊の三上山、音羽山などの個人山行は、通常は記載しません。

複数の月にまたがる山行は、両方の月に掲載しています。